

>> 前ページより

パリー医師から伺った情報を基に、クラミジア以外の
性感染症の病気をまとめてみました。

その1 ウレアプラズマ

症状 排尿時の違和感、排尿痛、残尿感、不正出血など。

特徴 無症状のことが多く、女性の場合は、子宮頸管炎や早産・流産の原因となり得ます。

検査 クラミジアと同じく、尿検査または、膣からのサンプル採取。

薬 抗生物質



その2 性器ヘルペス

症状 発熱、倦怠感、性器に強い痛みを伴った水疱や潰瘍形成。また、強い痛みのため歩行や排尿が困難になることがあります。

特徴 ヘルペスウイルスの感染によって起こり、大半の人は無症状で感染していることに気付かず、一度感染すると、ウイルスは身体から排除されることはありません。

検査 発症している場合、性器の水疱から綿棒採取でサンプル採取。
無症状の場合は血液検査。

薬 抗ウイルス薬



その3 尖形コンジローム

症状 性器・肛門周囲にカリフラワー状のイボ、おりものの増加、かゆみ、痛みなど。

特徴 ヒトパピローマウイルスによる感染で、その中のいくつかのウイルスは、子宮頸がんの原因になる可能性が高いです。イボがなくなっても、ウイルスが皮膚内に存在すれば、完治が難しく、再発しやすいです。

検査 外見の違いによってわかります。

薬 抗ウイルス薬の塗布もしくは液体窒素による凍結療法



□ 最後に、本誌読者にメッセージをお願いします。

□ エイズなどいくつかのSTDは、一度感染すると完治は不可能です。事前の予防として“セーフセックス”を守り、かからないようにしましょう。こういった病気ではプライバシーについて心配される患者さんが多いですが、保険会社との手続きを除き、個人情報や履歴などは表に出ることはありませんので、ご安心ください。